

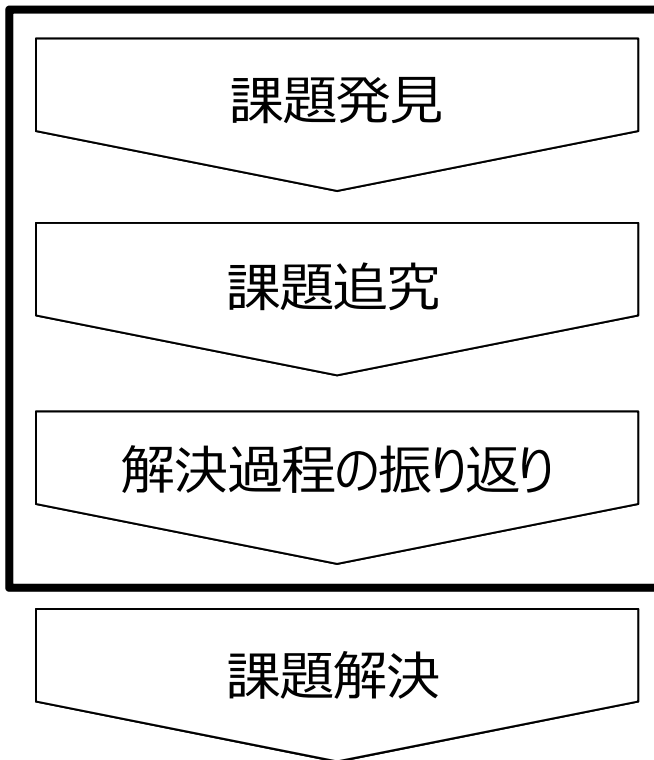
育成を目指す資質・能力

- 運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをすること。【知識及び技能】
- ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。【思考力、判断力、表現力等】
- 運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすること。【学びに向かう力、人間性等】

ICT活用のポイント

課題解決に向けて、自己や仲間が直面する課題を比較、分類・整理、蓄積する。

事例の概要



【課題発見】 試しのゲーム

- 自己の技能（ボール操作、ボールを持たないときの動き）の確認
- 自己やチームの動きを撮影し、手本の動きと比較
- チーム課題の確認

【課題追究】

- 課題に応じた作戦の選択・実行

【解決過程の振り返り】

- 蓄積した動画等を確認し、解決過程の振り返り
- 分類・整理したデータを基に自己やチームの変容の実感

【課題解決】 ゲームの実施

小学校・第5学年・体育科・ボール運動 ゴール型（タグラグビー）②

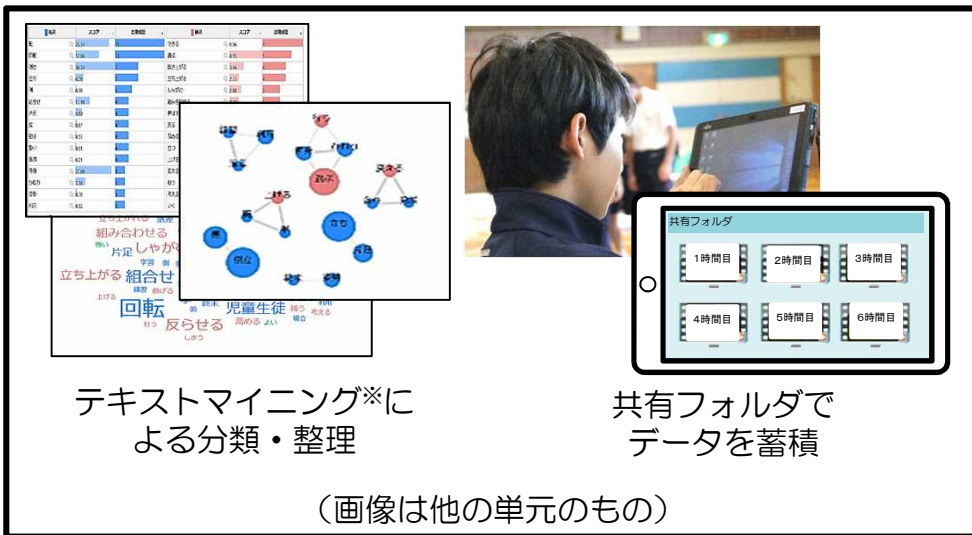
【ICT活用の場面①】 比較



【場面①におけるICT端末を活用するメリット及びポイント】

- 自己やチームの動きを動画で撮影し、手本となる動画と比較することで課題を明確にする。
- 2つの動きを2画面で比較したり、重ねて観たりすることで、自己やチームの課題を見付けることができる。
- 動画を繰り返し視聴したり、スローモーションで観たりすることで、技能のコツや動きのポイント等、視点を絞って話し合うことができる。
- 単元の最初と最後に撮影した個人やチームの動きの動画を比較することで、単元を通して身に付けた力に気付き、自己やチームの動きの変容を実感することができる。

【ICT活用の場面②】 分類・整理、蓄積



【場面②におけるICT端末を活用するメリット及びポイント】

- 毎時間ゲームの動画を撮影して、共有フォルダに保存することで、各児童が単元全体を通じた解決過程を振り返ることができる。
- 集積した各児童の自己評価シートの記述内容をテキストマイニングを用いて分析し、学級全体や同じチームの児童の思考を可視化して分類・整理することで、児童は他者との考えの共通点や相違点などに気付くことができる。また、教師は児童の考えの変容を把握し指導に生かすことができる。

【活用したソフトや機能】

写真撮影・動画撮影機能 動画再生機能

テキストマイニングソフト（ウェブブラウザ） ファイル共有機能

※「テキストマイニング」とは、大量の文章データの中から有益な情報を取り出すことを指します。文章を単語に分割し、出現頻度や相関係数等の特徴を抽出することができるデータ分析の方法の一つです。自己評価や振り返りシートなどをテキストマイニングを用いて分析することで、記述内容の全体の傾向を知ることができたり、特徴を発見したりすることができます。